

＜学校名＞ 草加市立新田小学校
＜所在地＞ 埼玉県草加市旭町6丁目12-11
＜電話＞ 048-941-3172
＜本事例の特徴＞

本校は、週に3日、アメリカ人のALTが勤務している。また、外国語の専科教員と小中連携担当教員が週に2日勤務している。主に、3年生～6年生の外国語活動や外国語の時間を担当し、授業以外にも積極的に児童と触れ合うことで、外国語への興味・関心をもたせている。

＜具体的な取組や成果＞

○低学年や特別支援学級の外国語活動

本校では、学期に1回、年3回程度、低学年の各学級と特別支援学級で外国語活動を行っている。授業の内容としては、カードやかるたを使った遊びや、歌やチャンツなどを行っている。また、ALTと短い言葉で意思疎通をしたり、担任が英語を話す様子を見たりすることで、普段触れ合うことの少ない外国人や外国語、外国の文化に触れる機会となっている。

○授業時間外のALTと児童の交流

本校のALTは、児童と触れ合う時間を大切にしている。休み時間や放課後に児童に声をかけて挨拶をしたり、積極的に外に出て児童と一緒にスポーツをしたりしている。授業中や掃除の時間など、空いている時間に廊下を歩いて様子を見たり、児童に声をかけたりしている。

○外国語ルームの装飾・掲示物の作成

ALTや外国語専科の教員で、外国語ルームの装飾や掲示物の作成を行った。側面や背面の掲示板には、児童の作品を掲示するコーナーや、色や形を外国語で表し掲示したコーナーを作成している。また、外国への興味をもつことができるように、教室の天井に万国旗を吊り下げている。

